



むかわ町

概要

むかわ町は、平成18年に鶴川町と穂別町が合併して誕生した町であるが、バスの運行系統が合併前の系統を踏襲したまま2つに分かれており、利便性・効率性の高い運行が行われていないこと、また、人口の減少、高齢化が進展するなか、バス利用者は横ばいで、早急な経営改善が求められていることから、むかわ町バス事業運営委員会の設置、コミュニティバスの導入、デマンドバスの導入、2地域間交通及び町外との交通の確保等により、地域と連携した持続できる効率的な交通体系の構築を図る。

むかわ町バス事業運営委員会の設置(21年度～)

バス事業を地域社会の活性化、高齢者福祉等の視点で進めるため、地域住民主体の運営による「むかわ町バス事業運営委員会」を設置し、運賃制度の改善、待合施設の多目的化等の基盤整備など、バス事業全般の運営管理を行う。

コミュニティバスの導入(22年度～)

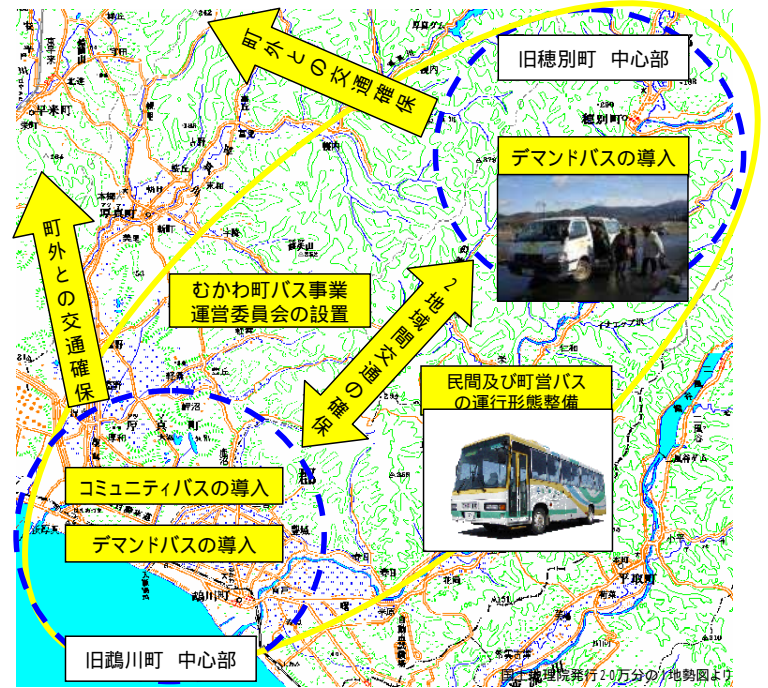
鶴川地域において、市街地での「通院」、「買物」の利便性を高めるため、現行の定時定路線の運行形態を保持しつつ、路線・ダイヤを改善のうえ、コミュニティバスを導入する。

デマンドバスの導入(21年10月～)

穂別地域において、各戸配備のテレビ電話を活用した予約システムによるデマンドバスの導入を図り、さらに鶴川地域における導入についても検証を行う。

2地域間交通及び町外との交通の確保(21年10月～)

鶴川・穂別の2地域間交通について、スクールバスとの調整、乗合タクシーの導入も視野に、民間及び町営バスの運行形態を整備し、利便性・効率性の向上を図る。
鶴川・穂別のそれぞれの地域と交流が多い町外各方面への交通確保のため、JRや都市間バスとの接続を改善する。



むかわ町地域公共交通活性化協議会 計画事業の取組状況

主な事業内容

デマンドバス実証運行

・むかわ町穂別地区において、既存路線方式バスの一部でデマンドバスの実証運行を実施

設備の充実

・バス車両の導入し、バスのバリアフリー化、小型化、効率化を推進
・バス待合機能を持った施設の整備を行い、既存施設の有効・多目的活用を推進

協議会開催状況

4回開催

分科会等開催状況

WG4回開催

回数は、平成21年度末までの開催予定

公共交通の利用促進策の実施と公共交通サービスに関する情報提供

- ・利用者へのアンケート調査結果から、改善点を把握・分析し、運行形態の見直しを実施
- ・テレビ電話(情報端末)を活用した予約システムの構築
- ・カードシステムによる運賃の前払い制度を導入
- ・デマンドバス運行の仕組みや利用方法等について、町報・バス中吊り広告・住民説明会・情報端末による情報提供
- ・バス時刻表の作成

実施状況

デマンドバス実証運行

・平成21年10月1日から平成22年3月31日まで運行
平日4系統17便、土曜3系統21便、日祝日3系統16便
・出発時刻の前日、午後4時までにテレビ電話(情報端末)及び一般電話により予約
・新千歳空港直行便もデマンド化(補助対象外)

設備の充実

・デマンドバス実証運行に合わせてワゴン車両を3両購入(補助対象外)
・バス待合環境機能実証・整備は、2月より実施予定

公共交通の利用促進策の実施と公共交通サービスに関する情報提供

- ・利用者へのアンケートを12月に実施
- ・テレビ電話(情報端末)を活用した予約システムは10月1日より稼働
- ・カードシステムにより、バス運転手の料金収受業務の負担軽減と併せて利用促進調査に係るシステムの構築を図り、運賃前払いについては、実施方法を検討中。
- ・デマンドバス運行の仕組みや利用方法等について、町報3回、中吊り広告2回、住民説明会を5回実施。
- ・バス時刻表・路線図及びデマンド運行の利用方法PR版を4,500部作成し、むかわ町全戸に配布
- ・穂別地区全戸に整備されている情報端末(テレビ電話)による情報提供随時実施。

自己評価のポイント

- ・地域住民、特に高齢者を中心とした交通弱者に対する利便性の向上による地域内交通を確保していくため、適切な事業と評価する。
- ・予約システムの課題もあったが、慣れるに従って改善されてきた。
- ・デマンド運行となったことで実車走行距離が減り、経営の効率化では一定の成果があった。

二次評価のポイント

自己評価のとおり、現在継続中の事業についても検証を行い、自立性・持続性を持った事業となるよう期待する。